

経営比較分析表

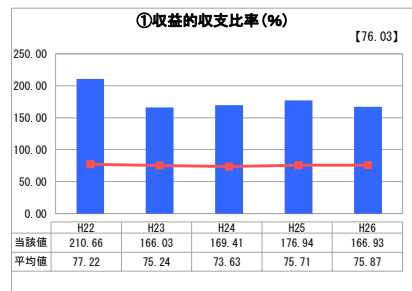
北海道 えりも町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	97.48	4,860

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,153	284.00	18.14
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
4,921	38.00	129.50

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



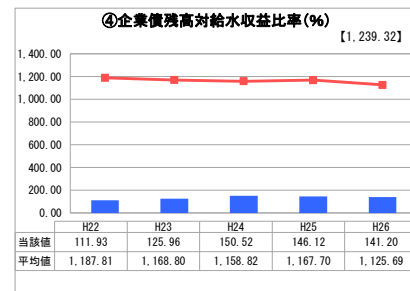
「単年度の収支」



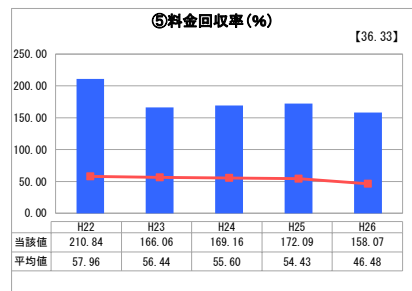
「累積欠損」



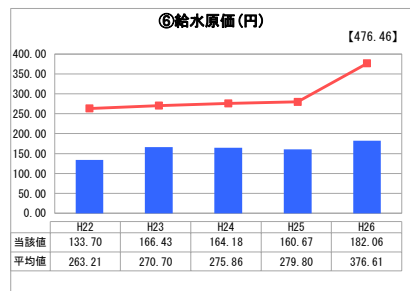
「支払能力」



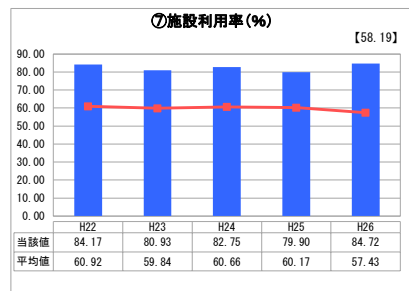
「債務残高」



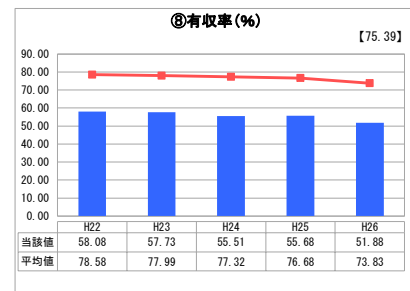
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

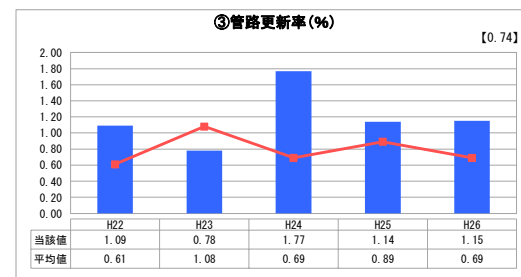
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、100%以上であると収支が黒字であることを示していますが、H26年度で166.93%と良好な比率となっており、老朽化施設の更新に備え黒字分は積立しています。

②企業債残高対給水収益比率は、低い数値が良いですが、類似団体平均値に比べて良好な比率となっています。

③料金回収率は、100%以上であることが良いですが、H26年度で158.07%と類似団体平均値に比べて良好な比率であり、料金収入で維持管理費や起債の償還費がまかなわれています。

④給水原価は、低い数値が良いですが、H26年度で182.06円と類似団体平均値に比べて良好な数値となっています。

⑤施設利用率は、高い数値が良いですが、H26年度で84.72%と類似団体平均値と比べて良好な比率となっております。

⑥有収率は、100%が良いですが、H26年度で51.88%と、類似団体平均値より低い割合となっております。これは、管路の老朽化により漏水の割合が高いことが要因であります。

2. 老朽化の状況について

③管路更新率は、H26年度で1.15%と類似団体平均値よりも高い数値となっています。

管路の法定耐用年数は40年ですが、当町の場合、すでに40年を超えている管路もあることから、今後も財源を確保しながら、計画的に更新を進めていく必要があります。

全体総括

水道事業は、料金収入等で運営する独立採算性が基本ですが、当町の経営状況は料金収入でまかなわれており良好であります。

ただ、人口減少に伴い、料金収入額が年々減少してきており、今後もこの傾向は続く想定されることから、管路の更新を、緊急性や重要性が高いものから計画的に実施していきます。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。